

平成 22 年 4 月 14 日

新 宿 区 長

法 人 名 NPO 法人 東京山の手まごころサービス
 所 在 地 新宿区高田馬場 1-32-7 信ビル 301 号
 (フリガナ) タカヨリジ ユニバヒコ
 代表者氏名 代表理事 小西 伸彦



事 業 実 績 報 告 書

新宿区協働推進基金条例施行規則第 19 条の規定により、下記のとおり報告します。

記

1 助成対象事業

事 業 名	こめこめ倶楽部 リフレッシュ事業
実施日時または期間	平成 21 年 6 月 1 日～平成 22 年 3 月 31 日まで (10 ヶ月)
対象の範囲及び人数	新宿区内に居住する高齢者、障がい者とその家族と子ども等 参加者数：延べ 610 名 (対前年比 103.4%)
事業内容	お年寄り、障がいを持つ人々を地域で孤立させないために、公的制度の隙間を補う地域支援サービス事業「まごころこめこめ倶楽部」を開設して安心して暮らしができるための多様な交流事業を年間を通して開催した。
具体的な活動状況	4 月から 3 月にかけて毎月実施 (計 18 回) (4 月から 5 月の間は、助成金対象外として実施) ① 観桜と交流会 (4/1 新宿御苑一帯) ② ADL 体操と歌の会 (4/24 新宿けやき園＝高齢者・障害者施設) ③ ADL 体操と茶話会 (6/19 新宿けやき園) ④ 健康フラダンス (7/13 大久保地域センター) ⑤ ADL 体操と歌の会 (7/17 新宿けやき園) ⑥ 例会とお茶の流儀の会 (7/21 信ビル) ⑦ 子供、高齢者の昔遊び大会 ((8/21 新宿けやき園) ⑧ 納涼学生落語を楽しむ会 (8/31 大久保地域センター) ⑨ 音楽療法の会 (9/17 大久保地域センター) ⑩ ADL 体操と歌の会 (10/23 新宿けやき園) ⑪ ADL 体操と琴の調べを楽しむ会 (11/13 新宿けやき園) ⑫ クリスマス朗読とオカリナの会 (12/7 大久保地域センター) ⑬ 新春琴の演奏と茶の湯を楽しむ会 (1/13 大久保地域センター) ⑭ ADL 体操と歌の会 (1/23 新宿けやき園) ⑮ ADL 体操と茶話会 (2/26 新宿けやき園) ⑯ 戸塚地域センターオープン記念健康フラダンス交歓会 (2/28 戸塚地域センター) ⑰ 初心者打ち麺づくり会 (3/11 戸塚地域センター) ⑱ ADL 体操と歌の会 (3/19 新宿けやき園)
事業の成果	① 本事業は、当 NPO が、22 年間の在宅福祉活動で把握した新宿区内で最も高齢化率が高い戸塚、中央地区が抱える課題を解決する施策として、高齢者の孤立化、引きこもり防止に役立つ居場所づくりをめざして 4 年間実践している。 ② 行政と地域住民の支援も効を奏してようやく地域に根付きつつあり、公的制度の隙間を担う唯一の NPO 支援事業として順調に発展することが期待される。



2 助成対象事業費内訳（実績）

※ 内容は、できるだけ「単価×数量」で示してください。

※ 1万円以上のものについては、領収証（写し可）を添付してください。

収入	経 費	積算根拠(内訳)		金 額
	団体負担金			605, 149 円
	参加費・資料代	参加費 (300 円×181 人)		54, 300 円
	その他の収入			0 円
	協働推進基金助成金	助成金交付額 300, 000 円		
	計	959, 449 円		
支出 助成 の 対 象 に な る 事 業 費 の 内 訳	費 目	決算額	内 訳	
	会議費	51,220 円	会場費 22,300 円 (大久保地区センター5 戸塚地区センター1)、 会議用資料作成費 28,920 円 (@1257.4 円×23 回)	
	宣伝費 (注:東京山の手まごころサービス共 通で製作したものにつき、当該事業割 合が 1/3 であることから 30%を負担 した)	281,456 円	「まごころだより」作成費 48,555 円 (10 回・161,850×0.3) ホームページ作成費 86,940 円 (10 回) イベントチラシ作成費 27,062 円 (フリーダム) イベント案内発送費 96,000 円 (80 円×120 枚×10 回) カレンダー作成費 12,899 円 戸塚地域センターオープニング出前講座出展費用 10,000 円	
	リース費	1,500 円	信ビル会議室使用料 1,500 円	
	消耗品費	13,048 円	事務用品費 7,568 円 ゴミ処理券 5,480 円	
	謝礼	153,944 円	講師謝礼 153,944 円 (1 回 3 時間) (22,222×1+20,000×2+ 11,111×2+10,000×2+8,000×1+5,000×4+2,500×5+2、000 ×4+1,000×1)	
	人件費	52,500 円	世話人謝金 52,500 円 (2,500×11+2,000×3+1,000×19) (各人 1 回当たり担当は 3～4 時間)	
	材料費	46,303 円	フラダンスの会 (1,445) 子どもと大人の交流 (1,669) A D L 体 操 (16,957) クリスマス会 (4,866) 新春を祝う会 (12,340) う どんづくり (9,026)	
	交通費	129,990 円	都内交通費@702.65×185 人	
	その他諸経費 (30%負担の根拠は、宣伝費と同じ)	94,196 円	活動保険 75,990 円 (253,300×0.3) + イベント参加者送迎費 (送 迎車両担当スタッフ 3 名による実費送迎:冷茶の会 3,743 落語の 会 4,362 音楽療法の会 7,371 クリスマス会 2,730)	
	助成対象事業費 (小計)	824,157 円		
	余剰金	0 円		
	助成対象外事業費	135,292 円	助成対象期間前実施事業 35,042 円、会議食事代 70,650 円 リース費 22500 円 その他 7,100 円 (講師タクシー代)	
	事 業 総 額	959, 449 円		

3 助成事業の成果と課題

評価のポイント	自己評価
当初に決めた課題について、どこまで達成できたか	① リフレッシュ事業としての小学生対象の出前講座を1回実施した。子供の夏休みを利用して昔遊びを通して高齢者との交流会は楽しい企画で、盛会であった。 ② けやき園での出前講座は2年目を迎え、広報活動と社会福祉協議会の協力もプラスとなって、戸山団地高齢者の参加者が増加し、施設入居者との交流が徐々に増加中である。 ③ 参加者へのニーズ調査からイベント内容のリニューアルを実施した結果、リピート参加者が徐々に増加中である。 ④ 高齢者相談センターや社協の協力依頼が徐々に増えて知名度も上昇中である。
地域にどのような効果があったか	① 要支援1,2の軽度の高齢者が家族や高齢者相談センターの勧めで参加するケースが増加中である。 ② グループホーム、デイサービスからの問い合わせやグループ参加が増えてきた。 ③ けやき園での定期開催実現で、戸山団地高齢者の参加が増加中で、入居者との心の交流ができつつある。 ④ 戸塚地区協議会、戸塚地域福祉会議がこめこめ倶楽部の活動を取り上げて、話題づくりに貢献している。
今後見込まれる効果	① 公的制度のみで地域で安心して暮らすことが、今後、ますます困難となってくる。 ② 制度の当てはまらない小さなニーズがたくさんあること。そして、それこそが生きていくうえで大切である。 ③ そんななかで、高齢者の介護予防、子供の健全育成に「まごころこめこめ倶楽部」の存在がさらに高まっている。
新たに気づいた課題	1. 活動を通じて次の現状と課題がさらに実感された。 ① 新宿区戸塚地域での高齢者一人暮らし世帯の急増化 ② 福祉ニーズの多様化が進んでいる ③ 地域コミュニティの崩壊とその対応の緊急的重要性 2. 行政の公的制度だけでは、高齢者、障がい者の暮らしは支えられないことがはっきりした。足りない部分は、行政と住民が知恵と行動で汗を出し合い、補っていく必要がある。 (「協働」の重要性)
理解者や支援者は広がったか	4年目を迎えたこの活動は、多くの地域住民、社会福祉協議会、地区協議会、戸塚地域福祉会議、高齢者総合相談センター、戸山団地世話人会などの理解と協力が得られ、NPO法人としてのまごころサービスの地域生活支援事業としての「こめこめ倶楽部」の知名度が年々高まっていることが実証された。
事務局の執行体制は十分だったか	平成20年度より、事務局内に生活支援サービスとして「まごころこめこめ倶楽部」の事業部門を発足させ、代表のリーダーの下、ヘルパー8人による世話人会を組織し、イベント企画、プログラム作成、会計処理、広報活動を年間を通じて参加者の開拓とニーズに応えることができた。

今回の事業を発展させた事業としてどのような事業が考えられるか	4年間の地域生活支援事業「まごころこめこめ倶楽部」の魅力は、高齢化率の高い戸塚地区では徐々に広まってきた。4年間休まず事業を継続できたことが高齢者の支援を得た大きな要因である。 今後、新たな事業として、次のようなことが考えられる。 ① 空き教室、空き店舗を利用した「まごころこめこめ倶楽部」の常設化 ② 介護保険外の支援（＝インフォーマル支援）の中核に「まごころこめこめ倶楽部」を位置づけて支え合い、助け合いの柱に育てる。 ③ 「まごころこめこめ倶楽部」の今後の拠点として、「戸塚地域センター」「西戸山第二中学校跡」を活用した「ふれあいサロン」の充実を実現したい。
その他	

※ 事業の成果物（冊子など）又は、事業の開催時の写真など提出できるものがある場合は添付してください。

※ 参加者の意見なども報告してください。

4 活動の成果

【活動の成果】 ① 10ヶ月間に月2回ペースで多彩なプログラム（ADL体操、健康フラ、散歩、音楽療法、朗読、お茶会、落語等）を取り入れ、参加者に感動と安らぎを提供できた。 ② 日中独居の高齢者、引きこもり高齢者に外出の機会を作ることで前向きに生きることができたと好評だった。 ③ 子供との交流会では久しぶりで子供と会話ができて、昔を偲びうれしかったとの声が寄せられた。 ④ 新宿区で数少ない福祉系 NPO 団体の活動が地域で存在価値を認められることができた。 ⑤ 戸塚地区協議会、戸塚地域協議会の分野でリーダー的存在となった。 【参加者の感想・意見】 ① お花の下での童謡は、子供の時分に戻ったようで楽しかった。 ② フラダンスを一緒にできて、参加してよかったと感激した。 ③ ADL体操で体を動かし、懐かしい歌を歌って、お茶を飲みながらおしゃべりができ、初めての参加だったが、とてもよかった。次回も参加したい。 ④ ADL体操で、2～3日後に筋肉が痛くなった。 ⑤ 冷茶では涼を楽しめた。心も満足でき、時の流れが止まったようなひとときだった。先生のお話は、いつも、奥が深く、心に染み入る。 ⑥ 昔遊びの交流会は、おじいさんにいろいろ教えてもらって楽しかった。 ⑦ 音楽療法では、この会から開始時間が変わったせいか、開始まで1時間も待たされた。 ⑧ ここのすぐ近くに住んでいて、参加して楽しかったので、また来たい。 ⑨ 童謡をお琴で聴くことができて、とても懐かしく楽しい時間をすごすことができた。 ⑩ 施設の方が体を動かしたり声を出したりしてお琴の演奏の邪魔になったので、何とかしてほしい。（修了後の茶話会時の1名からの発言） ⑪ それは、音楽を楽しんでなされておられるので、演奏会とは違うのだから止めていただくことはない。（⑩に対する修了後の茶話会時の多くの方々からの発言） ⑫ 三条先生の朗読は感動した。周りの方々にも泣いておられる方がたくさんいらした。一人で体操や歌を歌うことはなかなかできないので、このような会にいつも参加できることを楽しみにしている。
